

## Girls in Control 2026 春 開催報告

2026年3月7日

### 1. 開催概要

日時 2026年3月7日(土) 13:00~15:00  
場所 富山大学 総合教育研究棟(工学系) 1階でんきせいぞお〜ん  
参加者 11名(小学生6名, 中学生5名)  
スタッフ 南裕樹(兵庫県立大学), 松山科子(東京エレクトロン), 清水佳子(電力中央研究所), 戸田英樹(富山大学), 榊原一紀(富山県立大学), 田中ひろみ(JAAC), 学生TA4名(富山大学3名, 東京科学大学1名)

### 2. 報告内容

2025年と同様に, SICE 制御部門マルチシンポジウム(MSCS2026)の併設イベントとして, Girls in Control を実施することになった。戸田英樹先生(富山大学)と榊原一紀先生(富山県立大学)のご協力のもと, 会場手配とTAの確保, 広報活動を進めた。さらに, 富山市教育委員会に後援を依頼し, 市内の小中学校への広報を行うとともに, 富山県機電工業会, とやまDXコンソーシアム, 富山県商工会連合会を通じた広報なども行なった(担当: 松山)。

当日は, 事前申込み13名のうち2名がキャンセルとなり, 11名の参加者でイベントを実施した。今回は基礎コースの開催であり, 講義・演習に加えて, バランスロボットや小型ドローンのデモンストレーションを行った(担当: 南)。また, イベントの最後に, 理系女子の先輩であるTA4名に対し, 研究テーマや工学部への進学理由, 将来の夢などについて質問し(担当: 松山), 自由に語ってもらう時間を設けた。参加者へのアンケート結果によれば, イベントへの満足度は非常に高く, 「楽しかった」という声のほかにも, 「実際に理系工学を勉強されている方のお話を聞くことができ自分の進路の参考になりました」, 「大学生の生の声を聞いて, 工学部って楽しそうだと思います」といった感想が寄せられた。

イベント終了後は, スタッフとTAで意見交換会を開催した(担当: 清水, 松山)。TA業務を通じて気づいた点や, 大学生活や進路に関する話題について, 意見交換が行われた。



### Scratchプログラミング 準備その3

- 「ファイル→新規」をクリック
- 背景(自由)を選びましょう
- サッカーボールを選びましょう
- サッカーボールをクリックしよう
- サッカーボールをランダムに動くようにプログラムしてみよう

部品を揃えてつなげよう

### ゲームを作ってみよう(単純→複雑)

- 緑の旗が押された時プログラムをスタートするようにする
- 音量を調節する
- 猫の最初の場所を「x座標を-100, y座標を-50」に設定する
- 猫がボールの方を向くようにする
- 猫が2秒ごとにボールを追いかけられるようにする
- 猫がボールに触れたら「Meow」の音を2回鳴らす
- 4, 5, 6を繰り返す

レベルアップ!

### 3. 反省点など

#### (1) 広報について

広報活動の効果もあり、十分な数の申込みを得ることができた。教育委員会に後援に入っただけなのは広報の際に有利に働く。今後は、チラシにスタッフ数名の顔写真と所属を記載してはどうか。

#### (2) 内容について

- WiFi ルータはレンタルし、会場に持ち込んだ。セキュリティの問題やアカウント発行の手間が解消されるので、今後はレンタルをするのがよい。
- 実施時間を2時間にすることで、演習の時間やTAへのインタビューの時間を十分確

保することができた。基礎編は2時間開催とするのが良さそう。

- ワークシートに加えて、Scratch プログラミング演習の解説資料を配布した。
- グループ分けに際しては、事前アンケートを基に、参加者の学年と Scratch の習熟度を考慮した。TA1 名につき 3 名の参加者をサポートする体制とした。

以上